

事業概要：西田幾多郎記念哲学館デジタル技術によるグローバル社会とインバウンド・バリアフリー対応事業

継続

申請者	石川県かほく市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,621千円 (4,837千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業		
目的・効果	<p>・国内で唯一の哲学の博物館における通信環境を整備し、イベント開催を通じて、国際的な研究者との交流の促進やオンライン配信によって国内外に対し哲学の普及を進めることにより、効果的に関係人口の拡大を図る。</p> <p>・西田哲学資料のデジタル化に伴い、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」等を導入し発信することで、国内外に対し歴史的に貴重な資源に触れる機会を創出し、インバウンド及びバリアフリー対応の強化を図る。</p> <p>・本事業の整備により、哲学館を中心とした関係人口、交流人口の創出を図り、本市の更なる認知度を向上させ、市内における観光消費額の増加を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>展示音声ガイドアプリの導入で多様な文化背景を持つ外国人訪問者にも理解しやすく、展示動画への字幕と手話動画を追加することで、障がい者を含む全ての来館者に配慮することができ、訪問者の満足度向上を図る。</p> <p>2025年度に実施した西田幾多郎没後80年事業の成果をまとめた冊子を発行し、当館の事業を広く周知するとともに、さらなる利用者の拡大を図る。</p>				<p>◆インバウンドとバリアフリー対応◆</p> 	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館機能の充実（展示音声ガイド導入、インバウンド・バリアフリー対応） <ul style="list-style-type: none"> ・展示音声ガイドの導入に係る費用：1,440千円 ・障がい者・インバウンド対応に係る費用：1,138千円 ・西田幾多郎没後80年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費：825千円 					
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ①市内観光消費額（+5億7,800万円） ②講演会等の参加者数（+450人） ③オンラインでの参加視聴者数（+1,500人） ④利用者満足調査結果（+10%） ⑤外国人等の入館者数（+300人） <p><small>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>				URL	<p>※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</p> <p>https://www.city.kahoku.lg.jp/006/603/604/index.html</p>